

(仮称) JR可部線電化延伸事業に係る実施計画書への意見及び質問等について

1 第1回審査会での意見及び質問事項

意見及び質問の概要		事業者からの回答	該当部分
路盤、路床	<p>実施計画を見ると、工事は一番最小限にすると表現されているが、廃線にして8年が経っており、路盤、路床の状態によっては、大がかりな工事を行う必要がある。今までどのような点検をされていたのか。</p> <p>(高井委員)</p>	<p>路盤、路床については、基本的には8年前には走行していたので、概ね問題ないと考えていますが、列車の安全運航を確保するためには所定の強度や形状を確保する必要があるため、現在、現地調査を行っています。この結果を踏まえて対応したい。</p>	
電波障害	<p>住宅地区ですから電波障害、テレビなどの電波への影響はどのように考えているのか。</p> <p>(高井委員)</p>	<p>鉄道の高架事業を行えば電波障害の可能性がかなり高いですが、今回は平地であり、駅舎等も平屋になるため、電波障害を起こす可能性は低いと考えています。ただし、その可能性については必要な検討を行いたい。</p>	
	<p>今回の一つの変化は電化することです。新たに架線することによる問題はないという考えだと解してよいか。(堀越会長)</p>	<p>電化してケーブルが張られることになるため、何らかの電磁的な影響がある可能性はあります。今後、詳細な検討をしたい。</p>	
	<p>電波障害の問題の多くは高架することによって物理的にブロックされるが、架線を張ることによっても、もし電波障害が出る可能性があるのであれば、その項目も必要なのではないかと思う。(堀越会長)</p>	<p>電波障害については、新たに電線を張ることによって周辺住民への影響がないかどうか事前に確実に検討して、必要な対策を講じたい。</p>	
景観	<p>3kmとか1km離れた所から写真を撮って、景観を阻害していないとする評価をする必要があるのかと感じる。近距離で全体を見る必要があると感じる。もうすこし近景だとか、歩かれる方の視線で景観を阻害しない駅舎等の景観を評価したほうがよいのではないか。</p> <p>(吉田委員)</p>	<p>今回は遠距離からの評価を考えていますが今回新設する構造物は非常に低層であため遠距離からの景色より、むしろ、特に沿線住民の方にとっては、近距離の影響が大きいと思っています。今後、状況に応じて近距離からの評価をどのように行っていけばよいのか検討したい。</p>	<p>実施計画書 p. 92</p>

意見及び質問の概要		事業者からの回答	該当部分
景観	<p>市民の方の御意見の回答の中で、「支柱と架線を周辺環境と調和するよう配慮する」とあるが、これ以外に実際に環境に調和したような設備とはどのようなものがあるのか。</p> <p>(吉田委員)</p> <p>家の前に支柱が建っている景色と、家と家の間に建てて配慮・工夫する旨表現された方がよい。</p> <p>(吉田委員)</p>	<p>景観上問題となるのは、ケーブルですが、電柱から電気を供給するために空中にかなりの本数のケーブルが通っています。それらなるべく減らす工夫を考えています。電柱は2, 30m毎に建つことになるが、沿線住宅の真ん前にたてるということは避け、家の間に建てる等、現地での工夫を行いたい。</p>	
	<p>中間駅の位置は決まっているのか。景観に配慮した構造、色彩とはどのような構造なのか教えてください。(窪田委員)</p>	<p>中間駅の位置は現在検討中で、駅舎は基本的に1階の低層の小さな駅舎になると考えています。</p> <p>色彩については、周りの環境を乱すような色彩は避け、周辺に溶け込むような色彩を検討しています。</p>	
	<p>防音壁、フェンスは今の状況ですと小動物が入って来ないところまでだと透けて見えるフェンスでいいが、耐震とか防音とかということになると見えない壁になり、景観も通気性も変わってくる。その辺を写真で比較して頂ければいいと思う。</p> <p>(河野副会長)</p>	<p>本事業により、減少する要素、増加する要素それぞれあると思います。今後、そういった予測評価がどの程度可能なものか、手法を含めて勉強しまして、可能であればそういった効果を取り込んでいきたいと考えています。</p>	
温室効果ガス	<p>温室効果ガスを二酸化炭素だけで評価しているが、車の排気ガス内の亜酸化窒素も評価にいれるとプラスの方に少し傾くのかなと思います。(河野副会長)</p>		<p>実施計画書 p. 96</p>
安全対策	<p>駅ができることによって起こる朝夕のラッシュ時における自動車交通とか、それによる通学路に対する影響もあり得ると思う。(土田委員)</p>		

意見及び質問の概要		事業者からの回答	該当部分
安全対策	<p>住民の方が行き来されるようなところは、極力、安全に配慮した整備ができるなら配慮して頂きたい。見た目にも安全な設備が配置されることは大事だと思う。(吉田委員)</p>	<p>鉄道と沿線の方の通行、あるいは車の通行といった交差する箇所の安全確保は、鉄道事業者として最重要の事項であると考えており、住民の方が横断されていた所の取扱い等については、安全性確保を最優先に関係機関と協議を重ね検討したい。</p>	
	<p>鉄道敷と道路や民家の境にフェンスなどは計画されているのか。安全面はどうか。(高井委員)</p>	<p>境界部分に線路に立ち入らないような防護柵を沿線に設置することを考えています。</p>	
騒音	<p>1時間～2時間に1本の列車本数が20分に1本となり、8年間静かだったものが急に変わってしまうので、電車が走行する時に騒音問題が出てくことを危惧している。特段の配慮を考えて頂きたい。(林委員)</p>	<p>列車の走行に伴う騒音は、今回の事業の最大のポイントだと考えています。レールの継ぎ目をなくしてほしいという市民意見もあり、環境省の指針等の法令を満足することを最低限の事として、沿線の住民の方あるいは住宅の状況も配慮して、今後必要な検討を行います、</p>	
評価手法	<p>調査、予測に関してはかなり綿密な具体的な方法が展開されているが、その結果を基に、どう評価するかの記事をもう少し検討されないものかと思う。</p> <p>「実行可能な範囲で出来る限り」がイコール適正になされているということにならない。環境基準、排出基準と比較することは評価のやり方の一つとしてよいが、二酸化炭素や粉じん、景観など目標値、計画値がないものは、代替の対策を比較した中で適当らしいものを評価することができないのか。</p> <p>(長谷川委員)</p>	<p>特に基準がないようなものについては、御指摘の内容を踏まえ、適切な評価ができるような形で検討したい。</p>	

意見及び質問の概要		事業者からの回答	該当部分
アンケート	事業の実施を推す要因としてのアンケートの総数はどのくらいか。(棚橋委員)	このアンケートは河戸、亀山地区を対象としています。具体的に人数については手元にもち合わせがないが、電化延伸により直接恩恵を受けるエリアの方に対するアンケートという位置付です。	
駅前整備	駅前の整備については、駐輪場、駐車場を整備するにしても、景観や安全や使いやすさの問題が出てくる。(棚橋委員)	駅前整備については、広島市が整備する事業になります。駅だけでなく駅周辺、駐輪場等を含めた設備が一体となって地域の方に使って頂けるようになると思っているので、関係機関と協議を行っていきたい。	
土地の改変	ターミナルで大規模な土地の改変を伴うのであれば、工事期間中の土砂の問題も出てくると思うが如何か。(堀越会長)	基本的には大規模な土砂掘削はないと考えていますが、今後の検討によっては、一部土砂の入替えも発生しますので、環境負荷が低減されるよう必要な対策を考えたい。	

2 文書での追加質問（河野副会長）

意見及び質問の概要		事業者からの回答	該当部分
安全対策	<p>現在想定しているフェンスの形状、高さなどをお聞きしたかったので、回答をお願いしたい。</p>	<p>一般的に当社の規程等で定められているフェンス（防護柵）の形状としましては、金網のネット型の構造（ひし形の格子状、網目が60mm程度）とし、支柱についてはパイプ鋼管を概ね2mピッチで設置いたします。</p> <p>標準的な高さについては、1.5mと考えており、また色彩についてはダークブラウンを標準としております。</p> <p>なお、上記フェンスの仕様は、当社の標準的なものであり、今回の計画においては現地の状況、環境影響評価の問題点を確認し、また景観との調和等を考慮し、今後広島市等と協議・調整のうえ、仕様を決定したいと考えております。</p>	

3 文書での追加意見（矢野委員）

<p>騒音・振動について</p> <p>JR可部線電化延伸事業については、地域住民の強い要望があることは理解しておりますが、現行と同じダイヤにて運用が開始されると1日上下合わせて102本が運行されます。可部駅の始発は5:16、終着は0:37です。線路沿いの住民の方々への騒音・振動の影響を心配します。沿線住民へ、事前の十分な説明が必要であるととも、できるだけ運行時の騒音・振動の少ない材料、工法の採用をお願いいたします。</p>
<p>人身事故防止について</p> <p>他の委員からもご指摘がございましたように、JR可部線電化延伸事業対象の区間には、人が横切る可能性のある場所が、当方の調査では26箇所、内自転車やバイクが横切る可能性のある場所は13箇所、車が横切る可能性のある場所が7箇所あります。また、家屋敷の裏口が線路側に設置されている箇所が数箇所ありました。どの箇所が通行不能になるかについて、住民に対して事前の十分な説明が必要であると共に、安全に十分配慮した設備の導入を希望します。</p>
<p>再び廃線にならないために</p> <p>地域住民の強い要望により検討されているJR可部線電化延伸事業ではありますが、広島市の財政状況を考慮し、費用対効果を正確な予測データに基づき十分に検討する必要があると思います。</p> <p>また、JR西日本におかれましても、採算が取れる利用客数を算出すると共に、この採算ラインを割らないための利用促進策を地域住民と十分に議論されることを望みます。広島市による赤字の補填や、可部―広島間の運賃値上げとならないよう、十分な採算性の検討をお願いいたします。このことが、再び廃線にならないためには重要なことであると思います。</p>